

## 男体山

男体山は山岳信仰を信仰する人々から聖地として考えられて来ました。山岳信仰とは、山々の神聖さ重きを置く信仰の形で、男体山は日光の社寺とも深い関係を持っています。

782年日光の社寺を創始した勝道上人(735-817)が男体山に登り、山頂に小さな祠を作りました。登拝者は、この日光二荒山神社奥の宮で、男体山の神に祈りを捧げます。

男体山の太古の火山活動は中禅寺湖や周辺の景観を生み出しました。

2,486mのハイキングコースは、ブナ林を通り抜け、やがてコメツガ林に変わります。山頂では中禅寺湖、戦場ヶ原の見事な眺めを望められ、晴れた日には富士山まで見渡せます。奥日光エリアの象徴として、男体山は日本100名山にも認められています。男体山の見事な姿は、奥日光の様々な場所から眺めることができます。